



SANWA SUPPLY

# マルチメディアキーボード取扱説明書

SKB-112SLMMU



## 対応機種

各社DOS/Vパソコン  
(ただし、USBポートを持ち、パソコン本体メーカーがUSBポートの動作を保証している機種)

## 対応OS

WindowsXP・2000・Me・98SE・98  
Windows98ではACPIキーをサポートしていません。(WindowsXP・2000・Me・98SEがサポート)

最初に  
ご確認  
ください。

セ  
ッ  
ト  
内  
容

日本語USBキーボード	1台
専用ソフトウェア(CD-ROM)	1枚
ハンドレスト	1台
取扱説明書兼保証書(本書)	1部

ご使用前にこのマニュアルをよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できる様にしておいてください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。本誌に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

TS546000-001

2001.11

## はじめに

このたびは、マルチメディアキーボード「SKB-112SLMMU」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品は、USB仕様Ver.1.1、USB HIDクラスVer.1.1に準拠したキーボードです。また、本製品は、背面にPS/2スタンダードマウスポートを装備していますので、PS/2スタンダードマウスを接続することができます。

本製品をご使用になる前に必ずこのマニュアルをよくお読みください。

本書の内容を許可なく転載することは禁じられています。本書の内容についてのご質問やお気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店または弊社までご連絡ください。本書の内容については予告なしに変更することがございます。本書に記載しているソフトウェアの画面やアイコンなどは実際のもものと異なることがあります。

## ⚠️ 取り扱い上のご注意

本製品は電気で作動しておりますので、発火する危険があります。万一煙が出たり変なにおいがしたりした場合は、本製品及び接続しているコンピュータや機器の電源を切り、お買い上げの販売店又は、弊社までご連絡ください。雷がなっている時に、本製品やケーブルに触れないでください。

落雷により感電する恐れがあります。本製品のカバーを開けたり、分解したりしないでください。故障や感電の原因となることがあります。濡れた手で本製品やケーブルに触らないでください。本製品がパソコンに接続されている時には、感電する恐れがあります。本製品内部に液体、金属などの異物が入らないようにしてください。感電や火災、故障の原因となることがあります。

本製品に強い振動や衝撃を与えないでください。故障・破損などの原因となることがあります。本製品を水分や湿気の多い場所、直射日光の当たる場所、ほこりや湯煙などの多い場所、車中や暖房器具のそばなどの高温となる場所に設置したり、保管したりしないでください。故障・感電などの原因となることがあります。

本製品を重ねて設置したり、本製品の上に重いものを置いたりしないでください。火災や故障の原因となることがあります。本製品は不安定な場所に設置したり、保管したりしないでください。

落下により故障・破損の原因となることがあります。本製品や他の機器のケーブルを抜き差しする時には、必ずコネクタ部分を持ち無理な力を加えないでください。故障・破損などの原因となることがあります。

本製品のケーブルや接続する機器のケーブルは、家具で踏んだり、扉ではさんだりしないでください。またこれらのケーブルを引っ張ったり折り曲げたりしないでください。火災や故障の原因となることがあります。

本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失についての保証はいたしかねます。定期的にバックアップを取るなどの対策をあらかじめ行ってください。本製品のお手入れをする場合には、ベンジンやシンナーなどの揮発性有機溶剤が含まれているものは使用しないでください。

塗装を痛めたり、故障の原因になることがあります。乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。本製品は日本国内用に作られております。日本国外の規格等には準拠しておりません。

## 快適な使用方法

手首はまっすぐにのばし、指は少し曲げた状態にする。

手はキーボード上で肘に対して少なくとも90°になるようにする。

肩に力を入れたり、肩をすくめたりせず、余分な力を入れない。

15分間タイプする度に、1～2分休憩をとってください。

腕や肘を休めるため、手置き台(ハンドレスト)や肘付椅子の併用をしてください。

画面を見るときは、心持ち目線が下がるように椅子の高さを調節してください。

窓より少なくとも2mは離れて、自然光の入ってくる場所で、画面のコントラストを調節してください。画面にはCRTフィルタを装着することをお奨めします。

キーボード底面には、キーボードの角度(高さ)が調節できるようにツメが2カ所についています。お好みによって入力しやすい角度を選んでください。

**注意** スタンドを立てるときには、必ず両方のスタンドを立ててください。スタンドは完全に立てるか、全く立てないかのどちらかにしてください。中途半端な状態では使用しないでください。

## 特長

USB仕様Ver1.1に準拠した日本語112(106キー+Windowsキー+アプリケーションキー+ACPIスリープ+eメールキー+Hotキー)キーボード。

①スリープ:パソコンがサスペンド(スリープ)モードになります。

☑eメール:eメールソフトを起動させます。

Hot key:マルチメディアキーをon/offします。

ACPIキーはパソコン、BIOSがACPIに完全対応している機種でのみ動作します。

マルチメディアファンクションキー

Hotキーのon/offで10キー部分がマルチメディア&インターネットHOTキーになります。

メンテナンスをしやすいイーザークラスキーボード採用。

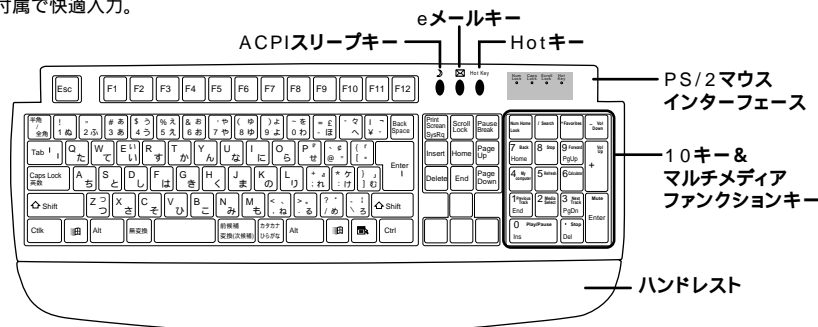
キーボードの取り外しが容易に行えますので、メンテナンスも簡単です。

キーボードを取り外してメンテナンスを行うときには、パソコンからキーボードのケーブルを抜き、キーボードの内部にゴミや埃・水分などが入らないよう、じゅうぶん注意して行ってください。

キーボードの角度調節(2段階)用スタンド付。

キーボードの底面には、キーボードの角度(高さ)が調節できるようにチルトスタンド(ツメ)が2カ所についています。お好みによって入力しやすいように、どちらかのポジションを選んでください。

ハンドレスト付属で快適入力。



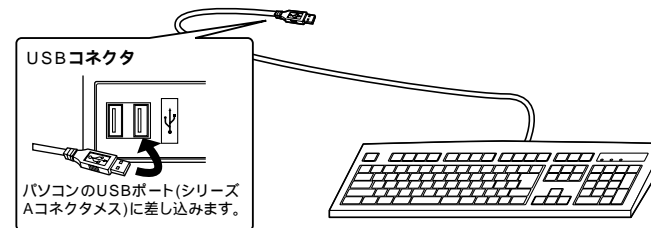
**注意** パソコンの機種・BIOSによっては、Windowsが起動する前のコマンド(BIOSの設定・SCSIボードの設定など)はできません。パソコンの機種・BIOSによっては、このキーボードを初めて使用する際、起動前にPS/2マウスかPS/2キーボードをパソコン本体に接続しておく必要があります。パソコンの機種・BIOSによっては、サスペンドモード(スリープモード・スタンバイモード)後にUSBキーボードを認識しない場合があります。このときは、接続しているUSBキーボードをいったん引き抜いてからもう一度接続し直してください。パソコンの機種・BIOSによっては、ACPIスリープキーの一部または全部が機能しない場合があります。Windows 98ではACPIキーをサポートしていません。(Windows XP・2000・Me・98 SEがサポート) ノートパソコンや各メーカー純正キーボードのファンクションキーにあらかじめ割り付けられている特殊機能(画面の明度調整やボリュームのアップダウンなど)は、このキーボードからは操作できません。

## キーボードのセットアップ

キーボードの接続(インストール)

最初に、現在立ち上がっているアプリケーションソフトなどがあれば、それらを終了させてください。

- 1 パソコンのUSBポートを、確認してください。(多くのパソコンではUSBのアイコンがついています。)
- 2 パソコンの電源が入っている状態(Windowsが完全に起動した後)で、パソコンのUSBポートにキーボードのUSBコネクタを接続します。



### 注意

初めて接続する時にパソコンの機種・BIOSによっては、Windowsが起動する前にはUSB機器を認識しない場合があります。

そのため、本製品を初めてパソコンに接続して電源を入れた際(コールドプラグ)、キーボードエラーやマウスエラーが発生してWindowsが起動できず、本製品のインストールができないことがあります。また、Windowsが起動しても、本製品のインストール作業中に本製品が作動せず、作業できない場合があります。これらの症状を避けるため、本製品を初めて接続する際はWindows起動後に接続する(ホットプラグ)か、あるいはパソコン本体のPS/2マウスポートにPS/2マウスを接続してからパソコンの電源を入れてください。

なお、一度本製品のセットアップを正常に行ったら後は、同じUSBポートに接続している限り、このような作業を行う必要はありません。

3. 「新しいハードウェアの追加ウィザード」の画面が現れます。

### Windows XP・2000・Meの場合

- 4 必要なドライバは数分で、順次自動的にインストールされます。  
「新しいハードウェアの追加ウィザード」が画面から消えた後もしばらく(約1分程度)インストールは続いています。ハードディスクの動作が安定するまで、お待ちください。
- 5 以上でキーボードの接続は終了です。「デバイスマネージャ」でインストールが正常に行われているか、キーボードが正常に動作するかどうかを確認してください。

### ポイント

Windows XP・2000・Meの場合は付属ソフトウェアをインストールする必要はありません。そのまま使用することができます。Windows 2000の場合には「My Computer」、「Calculator」、「Media Select」キーは使えません。これらの3つの機能も使われる場合のみソフトウェアをインストールしてください。

## キーボードのセットアップ(つづき)

### Windows 98 SEの場合

- 4 以下の画面が現われますので「次へ」をクリックしてください。(画面1)
- 5 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」にチェックマークが付いていることを確認して「次へ」をクリックしてください。(画面2)
- 6 どの項目にもチェックマークが付いていないことを確認して、「次へ」をクリックしてください。(画面3)



(画面1)



(画面2)



(画面3)

- 7 ドライバのインストールの準備ができると次の画面になるので「次へ」をクリックしてください。(注1)(画面4)
- 8 インストールが終わると次の画面になるので「完了」をクリックしてください。(画面5)



(画面4)



(画面5)

- 9 この後もう一度「新しいハードウェアの追加ウィザード」が現われますので同じ手順(4.~8)で「USBヒューマンインターフェイスデバイス(注2)」のインストールを行ってください。
- 10 以上でキーボードの接続は終了です。「デバイスマネージャ」でインストールが正常に行われているか、キーボードが正常に動作するかどうかを確認してください。

(注1)必要なドライバが見つからなかった場合

本製品はWindows標準のドライバ(Windowsのシステムに含まれているドライバ)を使用します。画面3から画面4に移行するときに万ドライバが見つからなかった場合は、WindowsのCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、CD-ROM内を検索してください。

(注2)「USBヒューマンインターフェイスデバイス」は繰り返し2度インストールされます。

## キーボードのセットアップ(つづき)

### Windows 98の場合

- 4 以下の画面が現われますので「次へ」をクリックしてください。(画面1)
- 5 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」にチェックマークが付いていることを確認して「次へ」をクリックしてください。(画面2)
- 6 どの項目にもチェックマークが付いていないことを確認して、「次へ」をクリックしてください。(画面3)



(画面1)



(画面2)



(画面3)

- 7 ドライバのインストールの準備ができると次の画面になるので「次へ」をクリックしてください。(注1)(画面4)
- 8 インストールが終わると次の画面になるので「完了」をクリックしてください。(画面5)



(画面4)



(画面5)

- 9 「完了」をクリックすると「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が閉じ、すぐにまた「新しいハードウェアの追加ウィザード」が現われますので同じ手順(4.~8)で「USBヒューマンインターフェイスデバイス(注2)」のインストールを行ってください。
- 10 このインストールが終わると、もう一度「新しいハードウェアの追加ウィザード」が現われますので同じ手順(4.~8)で「USBヒューマンインターフェイスデバイス(注2)」のインストールを行ってください。
- 11 以上でキーボードの接続は終了です。「デバイスマネージャ」でインストールが正常に行われているか、キーボードが正常に動作するかどうかを確認してください。

(注1)必要なドライバが見つからなかった場合

本製品はWindows標準のドライバ(Windowsのシステムに含まれているドライバ)を使用します。画面3から画面4に移行するときに万ドライバが見つからなかった場合は、WindowsのCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、CD-ROM内を検索してください。

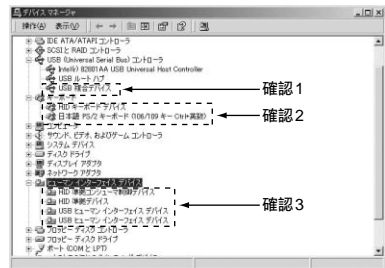
(注2)「USBヒューマンインターフェイスデバイス」は繰り返し2度インストールされます。

## キーボードのセットアップ(つづき)

### キーボードの接続(インストール)の確認

正常にインストールされると「システムのプロパティ」の「デバイスマネージャ」画面で以下のようにインストールされていることが確認できます。

#### WindowsXP・2000の場合



Windows 2000の場合、キーボード入力すると英語配列の文字が入力されてしまうことがあります。これは、OSがキー配列を誤認識してしまうのが原因です。この場合「日本語PS/2キーボード(106/109キー-Ctrl+英数)」のプロパティで「ドライバの更新」を選択して再度「日本語PS/2キーボード(106/109キー-Ctrl+英数)」のドライバをインストールしてください。(「日本語PS/2キーボード(106/109キー-Ctrl+英数)」がデバイスマネージャに無い場合は、「表示(V)」から「非表示のデバイスの表示」を実行してください。)

Windows Meの場合、キーボード入力すると英語配列の文字が入力されてしまうことがあります。これは、OSがキー配列を誤認識してしまうのが原因です。この場合「106日本語(A01)キーボード(Ctrl+英数)」のプロパティで「ドライバの更新」を選択して再度「106日本語(A01)キーボード(Ctrl+英数)」のドライバをインストールしてください。(ドライバが更新されない場合は、一度他「101キーボード」等のドライバに更新してから、再度「106日本語(A01)キーボード(Ctrl+英数)」のドライバに更新してください。)

Windows Meの場合、デバイスマネージャのアイコンに緑色の?マークが付くことがあります。本製品を使用する上では全く問題ありませんので、そのままご使用ください。

#### Windows98SE・98の場合



#### Windows Meの場合



## キーボードのセットアップ(つづき)

### ポイント

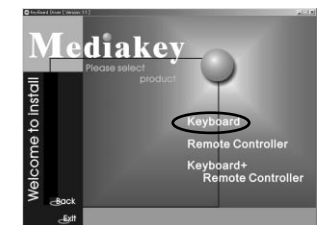
WindowsXP・2000・Meの場合は付属ソフトウェアをインストールする必要はありません。そのまま使用することができます。  
Windows 2000の場合には「My Computer」・「Calculator」・「MediaSelect」キーは使えません。これらの3つの機能も使われる場合のみソフトウェアをインストールしてください。

### ソフトウェアのインストール/アンインストール

ソフトウェア(「Compact Multimedia Keyboard Driver」)のインストール  
最初に、現在立ち上がっているアプリケーションなどがあれば、それらを終了させてください。  
1. 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットしてください。インストールソフトウェアが起動します。自動的に起動しない場合はスタートメニューの「ファイル名を指示して実行」を選んで、名前の欄に「D:\¥AUTORUN.EXE(CD-ROMが「D」ドライブの場合)」と入力し、「OK」をクリックしてください。

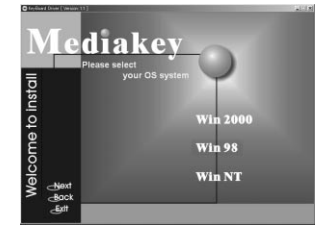
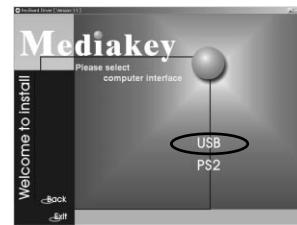
2. 「日本語」をクリックしてください。

3. 「Keyboard」をクリックしてください。



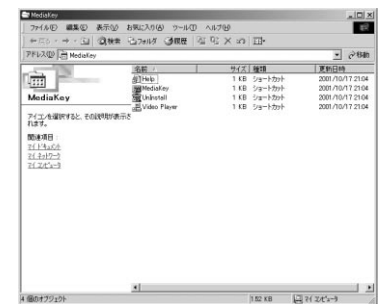
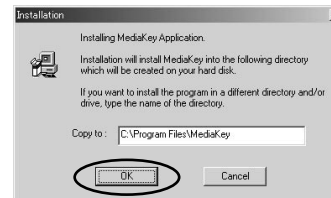
4. 「PS2」をクリックしてください。

5. 使用するOSをクリックしてください。



6. インストール先の選択画面が現れます。「OK」をクリックしてインストールを続けてください。

7. 必要なファイルがインストールされた後、「MediaKey」フォルダが表示されます。このフォルダを閉じてください。



8. インストールは終了です。「OK」をクリックしてください。

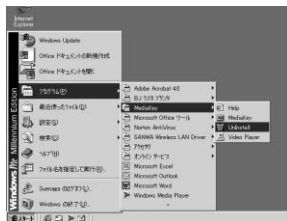


## キーボードのセットアップ(つづき)

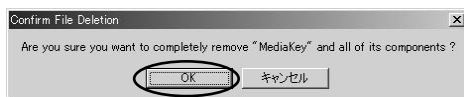
ソフトウェアのアンインストール

ソフトウェアのドライバソフトをアンインストール(削除)する場合、以下の手順で行ってください。

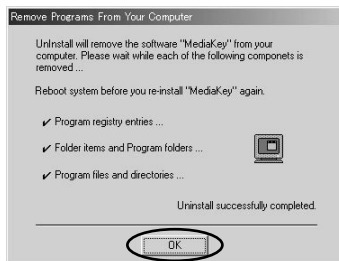
1. スタートメニューの「プログラム」の「MediaKey」の「UnInstall」を実行してください。



2. 確認画面が現れるので「OK」をクリックしてください。



3. アンインストールが終了すると以下の画面が現れますので「OK」をクリックしてください。以上でアンインストールは終了します。



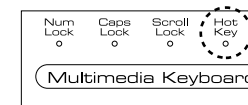
## 使い方と機能について

マルチメディアファンクションキー

マルチメディアファンクションキーは「HotKey」によって10キーと使い分けができます。それぞれのキーは以下のように設定されています。

マルチメディアファンクションキーを使用する前に、ハードウェアとソフトウェアがシステムに正しくインストールされていることを確認してください。

(P.6のインストールの確認を参照してください。ソフトウェアについては、「MediaKey」のアイコンがWindowsのタスクバーに表示されていることを確認してください。(P.10参照))



HOTキー-on/offLED  
on・・・点灯(マルチメディアモード)  
off・・・消灯(10キーモード)

HOTキー  
eメールキー:eMailソフトを起動します。  
ACPスリープキー:スリープモードに入ります。



HOME  
ホームページに戻ります。



Saerch  
ウェブサイトを検索します。



Favorites  
お気に入りを表示します。



Volume Down  
スピーカーへのオーディオ出力のボリュームを下げます。



Back  
ひとつ前のページへ戻ります。



Stop  
ウェブサイトの読み込みを停止します。



Forward  
ひとつ先のページへ進みます。



Volume Up  
スピーカーへのオーディオ出力のボリュームを上げます。



My Computer  
マイコンピュータを開きます。



Refresh  
ウェブサイトを更新します。



Calculator  
「電卓」を表示します。



Volume Up  
スピーカーへのオーディオ出力のボリュームを上げます。



Previous Track  
メディアプレイヤーで前のファイル/曲に戻ります。



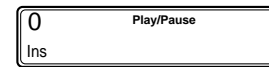
Media Select  
メディアプレイヤーソフトを選択します。



Next Track  
メディアプレイヤーで次のファイル/曲に飛ばします。



Mute  
サウンド出力をミュート(消音)します。



Play/Pause  
メディアプレイヤーで再生/一時停止します。



Stop  
メディアプレイヤーで再生を停止します。

## ソフトウェアの使用法

ソフトウェアのインストールが完了すると、「MediaKey」のアイコンがWindowsタスクバーに表示されます。



このアイコンをダブルクリックするとキーファンクションの再設定を行う「Programable Media」画面が起動します。また、このアイコンを右クリックすると「MediaKey」のPOPアップメニューが表示されます。

キーファンクションの再設定

「MediaKey」のアイコンをダブルクリックすると「Programable Media」画面が起動します。









Windows 98の場合







Windows 2000の場合



Windows 98では4つのキーファンクションの再設定が行えます。

-  :  のアイコン:初期設定では、ホームページに戻る。
-  :  のアイコン:初期設定では、マイコンピューターを開く。
-  :  のアイコン:初期設定では、電卓を表示。
-  :  のアイコン:初期設定では、eメールソフトを起動。

Windows 2000では2つのキーファンクションの再設定が行えます。

-  :  のアイコン:初期設定では、マイコンピューターを開く。
-  :  のアイコン:初期設定では、電卓を表示。

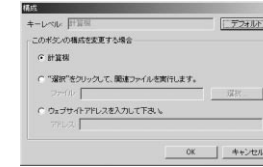
特定のアプリケーション(プログラムファイル)を実行するように設定する場合。

1.再設定を行うアイコンの下のボタンをクリックしてください。

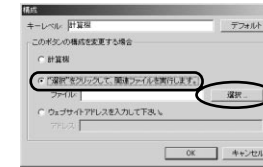


## ソフトウェアの使用法(つづき)

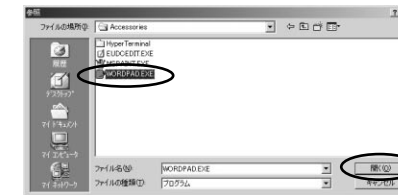
2.各ボタンのデフォルト設定が「構成」画面に表示されています。(図では計算機(電卓)にチェックマークがついています。)



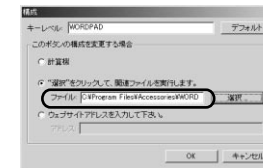
3.マルチファンクションキーでプログラムファイルを実行する場合には、「選択」をクリックして、関連ファイルを表示します」にチェックマークを付け(マウスでクリックする)、「選択」ボタンをクリックします。



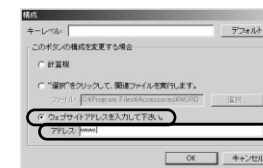
4.「参照」画面が表示されますので、実行するファイルを指定し「開く」ボタンをクリックします。(図では、ワードパッド(WORDPAD.EXE)が指定されています。)



5.構成画面に戻ります。4で指定したファイルがファイルリスト内に表示されています。




6.特定のインターネットのホームページを開く場合、「ウェブサイトアドレスを入力して下さい。」にチェックマークを付け(マウスでクリックする)、アドレス欄にホームページのアドレスを入力して下さい。

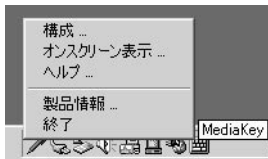


7.「OK」をクリックすると終了です。設定したファンクションキーで指定したファイルホームページが実行されます。初期設定に戻す場合には「デフォルト」ボタンをクリックしてください。

## ソフトウェアの使用法(つづき)

### ポップアップメニュー

Windowsのタスクバーのアイコン  をマウスで右クリックするとポップアップメニューが表示されます。

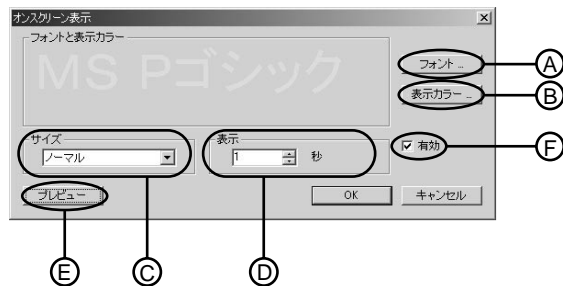


構成:このオプションを選択すると、「Programable Media」画面が表示されます。

キーファンクションの再設定を行うことができます。(前章を参照してください。)

オンスクリーン表示:ファンクションキーを実行した時に画面下にファンクションの内容が表示されます。

この表示の設定を行う画面が表示されます。



- ①・・・表示される文字のフォントを設定することができます。(設定用の画面が表示されます。)
- ②・・・表示される文字の色を設定することができます。(設定用の画面が表示されます。)
- ③・・・表示される文字の大きさを設定することができます。(プルダウンメニューの5段階の大きさからひとつ選びます。)
- ④・・・表示される時間の長さを設定することができます。(ボタンをクリックして設定してください。)
- ⑤・・・設定した内容をプレビューで確認します。
- ⑥・・・「有効」にチェックマークが付いている時に表示が実行されます。チェックマークが無い時は、表示されません。(マウスでクリックしてチェックマークを付けたり無くしたりできます。)  
「OK」設定した内容を保存してこの画面を閉じます。  
「キャンセル」設定した内容をキャンセルしてこの画面を閉じます。

ヘルプ: 選択するとオンラインのヘルプファイルにアクセスすることができます。

(ただし「ボタン機能」の説明部分は本製品とは異なります。)

製品情報: 選択するとMediaKeyのソフトウェアに関する情報を表示します。

終了: 選択するとCompact Multimedia Keyboardソフトウェアを終了します。